

日本人学生の氏名は、次の例のとおり、姓と名の区切りに1文字分の全角スペースを空けて記入してください。

例) ○ 徳島 太郎 × 徳島太郎 × 徳島太郎

様式10

論文審査の結果の要旨

報告番号	工 修 第 号	氏 名	○○ ○○ ※学位申請書類と一致させてください。 (外字, 英語表記の大文字・小文字など)
審査委員	主査 副査 副査		
学位論文題目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ※学位申請書類と一致させてください。英語の場合は、日本語訳を併記してください。 (英語表記の大文字・小文字なども学位申請書類と一致させてください。)			
審査結果の要旨  本論文は、○○○○○を扱ったものである。 特に、○○○○○を適用し、○○○○○を容易にした所に彼自身の創意と工夫が認められる。また、実際に○○○○○させた実験も立派に成功している。  上記は 本論文は、「○○○○○ (学位論文題目)」と題して、○○○○○について検討を行った結果を△章にまとめたものである。 第一章では、…………… のように、学生の要旨を要約されても結構です。  また、論文審査担当者において査読を行い、記述、内容共に十分であることを認めた。 以上により修士論文として一定の水準に達するものであり、修士 (工学) の学位に相当するものと考えます。			

日本人学生の氏名は、次の例のとおり、姓と名の区切りに1文字分の全角スペースを空けて記入してください。

例) ○ 徳島 太郎      × 徳島太郎      × 徳 島 太 郎

様式11

## 最 終 試 験 報 告 書

報告番号	工 修 第	号	氏 名	○○ ○○ ※学位申請書類と一致させてください。 (外字、英語表記の大文字・小文字など)
実 施 年 月 日		令 和 年 月 日		
試 験 方 法		口 頭		
試験の結果の要旨  令和 年 月 日に開催された 講座の修士論文公聴会において研究成果を発表し、席上活発な質疑応答がなされた。また、修士論文に関連する分野につき、口頭による質問を行ったが、その結果も良好であった。 所定の単位は取得しており、最終試験に合格したものと決定した。  よって、修士（工学）の学位を与えるのに適当であると判定する。				
決 定（該当を○で囲む）		合 否		
主 査 氏名		印		
副 査 氏名		「自筆でお願いします」	印	
副 査 氏名		印		